

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒中学校 ）



実施期間

令和2年10月28日（水）～11月13日（金）

実施内容

## 「読書の秋キャンペーン」

普段一人2冊までの本の貸し出しを、期間中は5冊までとし、たくさん読書してもらえるようにしました。

また、図書室前にホワイトボードを設置し、読書の呼びかけを行いました。図書委員会によるおすすめ本紹介の図書だより発行するとともに、図書委員会のおすすめ本コーナーなども設置しました。

児童生徒の様子

- 何度も5冊の上限まで本を借りに来る生徒がたくさんいました。
- この機会にと、シリーズ物の人気小説に挑戦する人も多かったようです。
- 一日の間に何度か図書室を訪れる生徒もおり、期間中は図書室がいつも以上の賑わいとなりました。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

- 図書室を訪れる生徒の人数が少し増えたようです。
- おすすめ本コーナーや、カウンターにピックアップした本を手取る生徒の姿も、以前より見られます。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒南中学校 ）



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒北中学校 ）



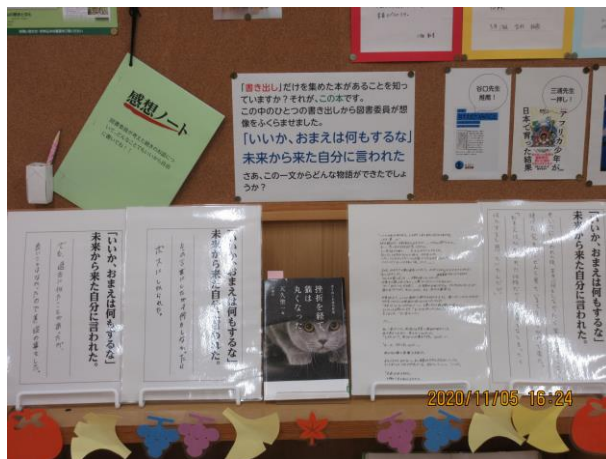
実施期間

令和2年 10月12日（月）～11月20日（金）

実施内容

## 「物語を作ってみよう、 友だちの作った物語を読んでみよう！」

「書き出し」だけを作って集めた本『挫折を経て猫は丸くなった』があります。その中の1作品「『いいか、おまえは何もするな』未来から来た自分に言われた」のあとに自分だったらどんな物語を続けるだろうということを考えてみました。図書委員が二人一組のチームになって様々な想像（妄想?）をふくらませましたよ。ノートの1ページに細かい字で「大作」を書いてくれたチーム、1行だけ続けて大喜びみたいにしたチーム、それぞれに個性の光る作品が出来上がりました。



また、校内ビブリオバトルの紹介本を展示したところ、すぐに貸し出しになりました。

自由に感想を書けるノートも置いてみました。

児童生徒の様子

足を止めて読んでいる生徒がたくさんいました。図書委員が友だちを連れてきて読んでもらったりもしていました。

ビブリオバトルの紹介本はやはり人気が高く、返ってきてすぐまた貸し出される状況です。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

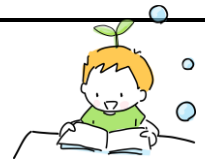
同級生がこれだけの発想ができて文を書けるということがわかって、よい刺激になったようです。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 緑ヶ丘中学校 ）



実施期間	令和2年10月27日（火）～11月9日（月）
実施内容	<p><b>「君の一冊を探そう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館等、数か所に「読書週間」啓発ポスターを掲示</li><li>・〈図書館だより〉10月号にて「読書週間」を告知</li><li>・イベントとして、“本のお楽しみ袋”・“オリジナルブックカバー配布”を実施</li></ul> <p><b>*本のお楽しみ袋の詳細*</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新着本を封筒に入れて、表に1桁の分類番号を表示。 内容を推測して、選書を楽しむ。</li><li>・各類・2冊ずつ準備</li></ul> <p><b>*オリジナルブックカバー配布の詳細*</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館マスコットキャラクター（野見先生創作）のイラストと 図書館名を表に、キャッチコピー「君の一冊を探そう」を折り返しに 配した。</li><li>・文庫版：3色 A5版：2色を用意</li><li>・図書の貸出の際、希望者に配布</li></ul>
児童生徒の様子	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、生徒同士もソーシャルディスタンスの確保を心掛けていた。</li><li>・多数の生徒が“本のお楽しみ袋”に関心を持ったが、本の内容を推測することが困難だったようで、貸出の向上につながらなかった。 (内容推測のヒント項目の充実や、袋の中身の生徒による選書など改善を検討)</li></ul>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<ul style="list-style-type: none"><li>・普段とは異なったジャンルの本にも関心を寄せる機会となった。</li><li>・一定数の読書好きの生徒の図書館利用に付き添って来館する生徒にも、徐々に読書の楽しさ・本の魅力が伝わっているように感じられる。</li><li>・積極的に図書館に対する要望、意見を提案する生徒が増えた。</li></ul>

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 鹿ノ台中学校 ）



実施期間

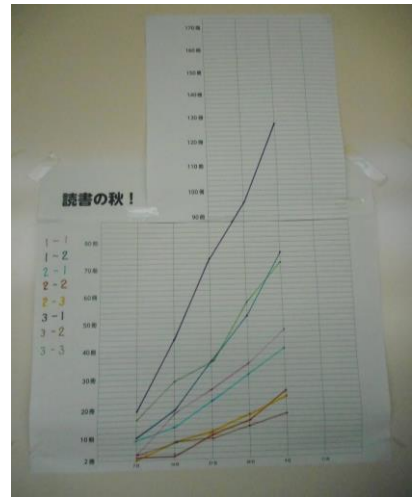
令和2年10月2日（金）～11月18日（水）

実施内容

## 「読書の秋！たくさん読もう！」

今年は図書委員の発案で、クラス対抗貸出冊数レースをしました。3年1組がぐんぐん冊数を伸ばし、2位争いをしていた3年3組と1年2組。はたして結果は？順位は11月18日の昼休みに校内放送で発表し、上位3クラスは表彰されます。同時に葉のデザインも募集していて、コピーしてたくさん図書室に置く予定です。

また、全校生徒にアンケートも行いました。好きな作家ランキングは図書室前廊下に張り出し、皆の注目を集めました。読みたい本を書いた生徒も多かったので、蔵書にない本は急遽購入して学年別に展示し、図書館便りにも載せました。



学年	作家	人数
1年	野 ぶる	3人
	あさの あつこ	3人
	栗 田 圭	3人
	栗 野 圭	2人
	江 戸 川 乱	2人
	いぬ じゆん	2人
	山 崎 純	2人
	青 柳 健	2人
	山 崎 純	2人
	山 崎 純	2人
2年	沙 見 聖 衛	6人
	m i N a t o	5人
	住 野 よる	5人
	いぬ じゆん	4人
	栗 野 圭	4人
	太 田 紫 織	2人
	はやみ かつお	2人
	青 柳 健	2人
	大 友 麻 耶	2人
	藤 月 美 穂	2人
3年	住 野 よる	10人
	汗 川 龍 之 介	9人
	太 野 圭	8人
	栗 野 圭	6人
	太 田 紫 織	5人
	沙 見 聖 衛	3人
	二 丸 野 一	3人
	J. K. ローリング	3人
	藤 崎 新 一	2人
	藤 崎 新 一	2人

児童生徒の様子

好きな作家ランキングで上位に挙がった作家はやはり気になるらしく、その作家の本を探す人もいました。  
読みたい本で蔵書にない分はいつ読めるようになるのかと、各学年の生徒から頻りに聞かれました。入荷して展示された本を見つけて、うれしそうに抱きしめていた姿が印象的でした。  
貸出冊数を伸ばそうとクラスの友だちを図書室に連れてきたり、借りたことのない友だちに本を薦めたり借り方を教えたりしていました。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

図書室の賑わいは継続しています。図書室に来る習慣がこのまま定着することを期待します。



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 上中学校 ）



実施期間

令和2年10月19日（月）～11月9日（月）

実施内容

## 「みんなの推しキャラ選手権♪開催」

生徒がお互いどんな面白い本を読んでいるのかを知るために、それぞれが好きな本の好きな登場人物に投票する「推しキャラ選手権」を行った。図書館通信に切り取れる投票用紙をつけ、「なんという本」の「なんという登場人物」が好きか、また、好きな理由を簡単に書いてもらい、校内2か所に設置した投票箱に投票してもらった。小説だけでなく、伝記などのノンフィクションの本から好きな登場人物を選んでもよく、一人で何人もの登場人物に投票してもよしとした。図書委員には各クラスで投票を呼びかけてもらい、職員室内にも投票用封筒を設置して先生にも投票してもらった。現在集計中である。今後の図書館通信で結果を発表し、票の入った本の特集展示をする予定である。

## 「図書委員によるブックハンティング」

例年、図書委員と近隣の書店に出向きブックハンティングを行ってきたが、今年はコロナ禍のため図書委員それぞれが書店に出向いたりインターネットで調べたりして選書を行った。購入した本は現在図書委員が装備をしており、今後おすすめコメントとともに特集展示をする予定である。

## 「図書館通信で読書週間について呼びかけ」

毎年のことであるが、図書館通信にて読書週間の成り立ちについて説明し、今年の標語や読書の楽しみ方について紹介した。

T 児童生徒の様子

「推しキャラ選手権」は、何かを達成し景品をもらえるようなイベントではないにも関わらず、多くの生徒が自分の好きなキャラクターについて思いを巡らせ楽しそうに投票している姿が見られた。

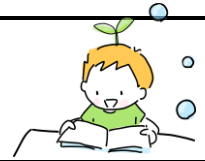
取組後の変容

（子ども・家庭・教師）

「推しキャラ選手権」は結果発表がこれからなのでまだ反応はわからないが、多くの票が入った人気の本や、どんな人物に魅力を感じているのかが投票によってわかったため、これから特集展示予定の本はよく借りられるのではないかと推測している。

図書委員が選んだ本は今年初めて図書委員が本の装備を担当し、時間はかかるが参加している生徒は仕上がりに満足している様子である。こちらも同年代が選ぶ本として毎年人気のため、たくさん借りられるのではないかと推測している。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 光明中学校 ）



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 大瀬中学校 ）



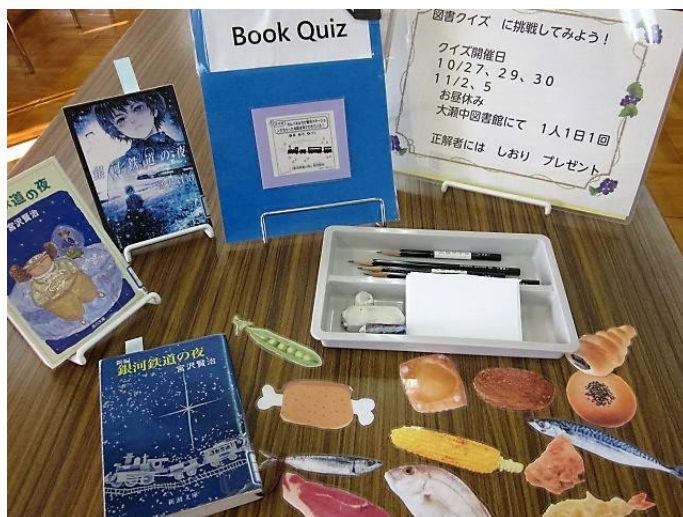
実施期間

令和2年10月27日（火）～11月5日（木）

実施内容

## 「図書クイズ」

- ・中学校の蔵書している本の中からの出題で図書クイズを実施した。正解者にはしおりをプレゼントした。
- ・昼休みにひとり一日一回だけなので、楽しむことができた生徒は「また次回も来ます。」と言い期間中、図書館に通っていた。
- ・全体的に来館者も参加者も少なかったが、普段イベントなどには参加しない生徒が挑戦し、生徒たちで会話が弾む場面も見られた。



## 「おすすめ本にいいねシール」

中学校図書館内所蔵の自分のおすすめ本に いいねシール を貼ってもらった。おすすめのひとつを書くコーナーもあるが、文章を書くのはちょっと苦手という人も、シールを貼るのならと参加する人が何人かいた。

自分がシールを貼った本が他の人に借りられたり、またほかの人が先にシールを貼ってあるのを見たりして嬉しい気持ちになったと聞くことができた。

児童生徒の様子

生徒同士の交流など図書館内で楽しく過ごしている様子を見ることができた。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

あまり宣伝もしていなかったこともあり、例年より少ない参加者人数ではあったが、図書館で楽しく過ごすことができた。

コロナ対策などをせずに行えるようになったら、たくさんの人数で出来るイベントを行いたい。